

# 患者・国民負担増の医療改革はゴメンです

小泉流

小泉政権は、来年2006年の国会で医療関連法案の改悪を計画し、次のような負担増を押し付けようとしています。

負担増計画 その1

**高齢者の患者負担を1割から2割へ**  
(一定所得以上は2割から3割へ)  
**すべての高齢者から保険料を徴収**

負担増計画 その2

**長期入院の食費、居住費、光熱費を全額患者負担に**  
**月3万円の負担増**  
一般入院の食費負担の引き上げも

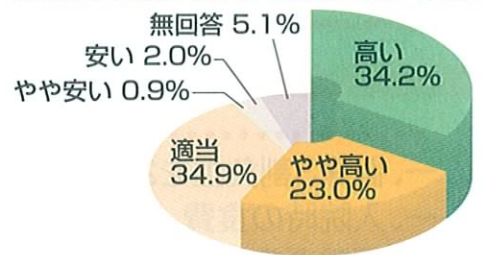
負担増計画 その3

**患者負担の月額上限の引き上げ**  
(高額療養費制度の改悪)

高齢者 入院40,200円、外来12,000円 >>> 一般並にアップ  
一般 入院・外来とも 72,300円+医療費の1% >>> さらにアップ



■現在でも6割近くの人が自己負担は高いと実感



## さらなる政府の医療改悪計画

- 改悪計画 その1 **医療保険制度を都道府県単位を軸に再編**  
●国の運営責任と財政負担縮小、医療費抑制を競わせ、保険料に較差
- 改悪計画 その2 **混合診療解禁や株式会社病院で医療を金儲けの市場に**
- 改悪計画 その3 **国公立・公的病院の統廃合で国の医療に対する責任放棄**

これ以外にも、サラリーマン増税や消費税率の引き上げなど国民負担増を計画しています。力を合わせて、負担増計画をストップさせましょう。

# 患者・国民負担増計画の中止と 「保険で安心してかかれる医療を」求める請願

衆議院議長 殿  
参議院議長 殿

年 月 日

## 請願主旨

今、政府・厚生労働省は2002年10月の高齢者の患者負担増、2003年4月の健康保険本人3割負担に続いて、来年2006年の医療「改革」で患者負担をさらに引き上げようとしています。07年から団塊世代が定年退職を迎え、高齢化がピークとなる2025年に向けて、全ての高齢者から保険料を徴収し、かつ患者負担を引き上げる、いわゆる「高齢者医療制度」を創設し、高齢者の負担増と給付削減を行おうとしています。加えて、長期入院の食費・居住費を介護保険の改悪にあわせて月3万円程度の患者負担にすることや、一般入院の食事療養費を減額すること、風邪薬やビタミン剤、漢方薬などを保険給付の対象から外すこと、風邪や腹痛など低額な医療は全額患者負担にすることなど、様々な患者負担増が検討されています。

さらに、患者負担増に止まらず、政府管掌健康保険、国民健康保険、高齢者医療制度などの医療保険制度を都道府県単位を軸に再編し、国の運営責任と財政負担の軽減とともに、医療保険ごとに医療費抑制を競わせ、成果の上がらないところには補助金の削減などペナルティーを課すことを計画しています。

高額な患者負担を求め、強引な再編計画による抑制は、患者の医療を受ける権利を脅かし、病気の早期発見・早期治療をさまたげ、重症化による医療費の増加を招くものです。

「保険で安心してかかれる医療を」というのは、国民共通の願いです。国庫負担の増額など医療保険に対する国の責任を強めるとともに、下記事項を要請します。

## 請願事項

- 一、健保3割負担を2割にもどすなど患者負担を軽減すること
- 一、入院時の食費、部屋代などの患者負担を増やさないこと
- 一、高齢者の患者負担と保険料の引き上げを行なわないこと
- 一、必要な医療は公的医療保険で保障し、保険のきかない医療行為を増やさないこと
- 一、医師、看護師の増員や医療の質と安全性が確保できるように診療報酬を改善すること

氏名	おところ

取扱い団体